

第23回恵那市歴史的風致維持向上計画協議会 会議要旨

日時：令和4年5月27日（金）13：30～14：50

場所：恵那市役所 会議棟 大会議室

公開又は非公開の別 公開

出席者

出村嘉史委員、長谷川良夫委員、森川彰夫委員、後藤俊彦委員、佐藤吉松委員、
鈴木繁生委員、八田雅昭委員、長谷川幸洋委員、林雅樹委員

欠席者

河田哲也委員

傍聴者 0名

1. 開会 (13:30)

2. 委員の委嘱

3. あいさつ

4. 会長・副会長の選出

事務局案を踏まえ、会長に出村嘉史委員、副会長に後藤俊彦委員を選出

5. 議事

令和3年度 恵那市歴史的風致維持向上計画進捗評価について

- ・資料1 恵那市歴史的風致維持向上計画について

資料に基づき事務局から説明

- ・資料2 令和3年度進捗評価シートについて

資料に基づき事務局から説明

◆道路美装事業

【長谷川(良)委員】

中山道大井宿宿場町大井地区内で、道路美装化だけでなく電線地中化はしないのか。

【事務局】

電線地中化は行わない。

◆岩村城登城道整備事業

【長谷川(良)委員】

岩村城跡まで車両で上がれる道が一部狭いため拡幅するのはどうだろうかという声があるが、この道は触らない方がよいのではないか。

【事務局】

拡幅する計画はない。登城道が急峻であることを体験いただくことも重要。

【出村会長】

他市でも似たような話がある。自力で上がることが難しい方には、駕籠など、人力で上がっていただく体験をしてもらうのもよいかもしれない。

【森川委員】

令和4年10月に予定されている山城サミットに向けて、登城道が整備されているが状

況は。民地内のブロックは変えられるのか。

【事務局】

市道部と民地部がある。市道部については、直せる箇所は直す予定。民地部については、所有者の理解を得られなければ整備できない。今はまだ難しい。

【出村会長】

歴史的雰囲気がある場所に違和感のある場所が一部あると、雰囲気が崩れる。恵那市では景観計画を改正しているところで、エリアごとの景観計画によりルールを作ることが解決策になるかもしれない。

◆重要伝統的建造物群保存地区での取り組み

【鈴木委員】

歴史資源の保存・活用のため取り組んでいる NPO 法人の設立から 10 年ほどが経過した。ヘリテージマネージャーも 3 名いる。地域に活動が少し浸透してきたと感じているが、この活動を知らない方が外部から本地区に入って来た際に、本 NPO 法人に情報が伝わらないため、十分に対応することができないケースがある。

【出村会長】

歴史資源を保存・活用する仕組みはあるが十分浸透していないと見受けられる。住民同士認識し合うことが重要。

◆岩村城石垣修理事業

【出村会長】

石積みの状態について、専門家がみた結果は。

【事務局】

石積みの一部が孕んでいるがすぐ崩壊するわけではないと聞いている。

【出村会長】

どこがどのような状況になっているか、カルテを残すことは重要。しかし、孕んでいる状況を記録しておいて、崩壊した際に、孕んでいる状態に戻すことになるのは良くない。石積みのイロハがわかる人を育てて、積み直せるようにすることが重要。建造物では保存・活用の取り組みが行われているので、石積みについても、同じような試みがあるとよい。

◆中山道保存修景整備事業

【佐藤委員】

トイレの清掃を行う際に、石畳みの一部が剥がれているのを見つけた。見た目は非常に

良いが剥がれやすい様子。景観を損ねないような方法で改修してもらいたい。

【出村会長】

掃除する方がいるため、路面の破損はすぐ報告いただける状況になっている。メンテナンス予算の確保が重要。本計画は第2期であるため、こうした維持修繕を回していける仕組み作り、維持管理していただく方が、楽しんで取り組んでいただけるようにすることが重要。

◆全般

【出村会長】

令和3年度の事業進捗については、コロナの状況下での取り組みは全体的に「良い」ということでよいか。

（「良し」の声あり）

6. その他

【事務局】

（本協議会終了後、明治天皇大井行在所の現地視察を行う旨をアナウンス）

7. 閉会 （14：50）

◆閉会后、明治天皇大井行在所の現地視察

参加者：出村会長、後藤副会長、長谷川（良）委員、森川委員、佐藤委員、八田委員